

助成事業実施報告書

2025年 4月 28日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人みやつち

代表者・役職名 氏名 代表理事 八木美弥子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

みんなで作る！みんなにやさしい居場所「ひまわり食堂」

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

野外活動(釜戸で煮炊き・火おこし体験・飯ごうなどで煮炊き体験など)農業体験(土作りから種まき・成長過程観察・収穫)自然体験(四季折々の自然素材などを使用してのクラフト作りや・遊び)

もしもの災害時の時に、電気・ガス・水道がない中での活動の積み重ねが自然と備わり役立つ。

こどもから大人まで楽しめる活動尽力しています。子育て世帯・シニア世代まで共に共感しあい多世代交流の場になり心の癒やしとなる。コミュニティーの輪を広げ、困りごと・悩み事を気軽に相談できるツールになる。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生じた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

毎月第4又は第5日曜日に開催し、地域の子育て世帯を中心に10名くらいから40名近く参加

野菜の種を初めて見るというこどもたちや保護者がほとんどで、感動の連続でした。

自分たちが種を植え成長過程観察・収穫し、みんなで食す楽しみや喜びを共感し自然と自身のこども以外にも手を差し伸べたり、こどもたちも心を開いている様子はとても微笑ましかったです。

火起こし体験や羽釜でご飯を炊く体験も初めての人たちが多く、燃えている時に白いものがるのは何か？と疑問をもつこどもたち。灰を見たことも初めてと。羽釜で炊いたご飯も初めてで、「めちゃくちゃ美味しい」と美味しい笑顔があふれています。

初めての体験を重ねることで、感動から自然と身についている様子が実感できています。

地球温暖化が進む中、生き抜く力を地域のみんなで楽しく備えていくことが小さな社会的変化になると思います。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

電気・ガス・水道もない状態で活動していますが活動を継続していくためには、やはり最低限簡易トイレや水道などの設置は必要不可欠なものだと実感しております。

もっと参加しやすい環境であれば、参加者の増加、継続も可能となっていくと思います。

そして、いつでも農作業や活動できるよう、農園に倉庫の設置ができるとともに効率よく活動できると思います。

地球温暖化による天候不順、物価高騰が止まらない昨今、地域の人たちで地域のこどもたちの笑顔を未来へつなぐために、自然・農業体験はとても大切なものです。

ひとり、ひとりがどのような状況でも生き抜く力を自然に身につける活動こそが、「ひまわり食堂」となるよう今後も精進していく所存です。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

